

平成22年度議員研修の報告

町議会にある議会運営委員会と2つの常任委員会では毎年度、町内と町外(道内)で所管(担当範囲)の事務の調査・研修を実施しています。

また、毎年6月と7月に町村議員を対象にした町村議会議長会主催の研修を実施しています。

町議会が開催されています。さらに今年度は政務調査費を使って当別町と姉妹都市である愛媛県宇和島市と宮城県大崎市への研修を実施します。

今後実施の都度、本日より報告し町行政へ役立てていきます。

石狩町村議会議長会研修会

新篠津村たつぷの湯
2階会議室での石狩管内研修会



【 議員研修会 】

研修会(以下、全道研修会)が7月1日に札幌市で開催され、全議員が参地方自治制度改正の動向や議会活性化についての講演を受講しました。代での農業政策の改革について、日本、アメリカとEUを比較しながら

【 総務文教厚生常任委員会所管事務調査 】

総務文教厚生常任委員会は、5月17日に町内の旧学校施設の利活用の現状を調査しました。また、7月7日～8日には1泊2日で幕別町と日高町で道内所管事務調査を実施しました。なお、8月に産業建設常任委員会の道内所管事務調査、10月に議会運営委員会の道内所管事務調査の実施を予定しています。

町内所管事務調査



内閣府より地域再生計画の認定を受けて
中央設備工業㈱が利活用している旧中小屋小学校



地域住民の有志による当別町田園文化創造協議会が
積極的に利活用している旧東裏小学校



日高町役場では「市町村健康増進計画」と「国民健康保険事業」をテーマに飛び地合併による地域格差を克服した経緯などについての研修を行いました。



幕別町百年記念ホールで「総合型地域スポーツクラブ事業」の研修後、河川敷の運動場施設などの現地視察も行いました。

道内所管事務調査

【町村議会】

石狩町村議会議長会主催の議員研修会（以下、石狩管内研修会）が6月18日に新篠津村で、北海道町村議会議長会主催の議員加しました。石狩管内研修会では「議会運営をめぐる諸課題」と題して、北海道町村議会議長会事務局長の勢旗了三氏を講師にまた、全道研修会では『農業ビッグバンの経済学』と題してグローバル化している農業の実情と少子高齢化・人口減少時農の構造改革を行うべきとの講演（講師：経済産業研究所上席研究員山下一仁氏）と7月11日投票日の第2回参議院議員選挙を前に白鷗大学法学部教授福岡政行氏による時事的な『政局展望』の講演がありました。



北海道町村議会議長会研修会

札幌コンベンションセンター大ホールでの全道研修会

【政務調査研修】



安芸市の研修であいさつする高谷副議長

政務調査費の凍結解除により7月23日に四国へ研修に行きました。7月23日、高知県安芸市に伺いました。安芸市は人口1万9千899人、平成15年度に緊急財政健全化計画（第1次・第2次アクションプラン）を策定するなど、当町によく似た条件の自治体です。早い時期から財政再建に取り組んだにもかかわらず、平成20年度決算で財政再生団体の指定を受けました。平成21年度以降は指定されていませんが、今も第3次アクションプランを策定し、引き続き財政健全化に取り組んでいます。予定時間を大幅に延長して活発な質疑応答などが行われ、大変有意義な研修となりました。

24日に姉妹都市の愛媛県宇和島市を表彰訪問、表紙に掲載のうわじま牛鬼まつりを視察し、25日には愛媛県内子町の内子フレッシュパークからり研修しました。単なる道の駅ではなく、レストラン、パン工房、キャンプ場などを併設し、コンピューターを利用した生産管理を行うほか、農薬や肥料の使用履歴をインターネットで開示するなどの先進的な取り組みは、当別駅前ふれあい倉庫のお手本となるものでした。政務調査費（せいむちょうさひ）とは地方議会議員が政策の調査・研究などの活動のために交付される費用のこと。当別町では平成15年3月に条例を制定しました（関連記事6頁）。



内子フレッシュパークからりスクリーンを見ながら研修する議員団